

ひと女と男 パートナーシップ

問い合わせ先 企画課男女共同参画推進係 ☎ 72-2111 内線 222

「日本女性会議2009さかい」報告 山の動く日きたる ジェンダー平等の宇宙へ

すべての人がその個性と能力を輝かせる社会を築くため、10月30、31日に、第26回「日本女性会議」が堺市において開催され、ジェンダーの視点の必要性を訴える大会となりました。

① 基調報告

岡島敦子さん（内閣府男女共同参画局長）が、日本では、女性が結婚・出産を機に仕事を辞め再就職したい時に、職に就けない状況があることを報告し、また、少子・高齢化社会の課題として、仕事も介護もしていかなければならない厳しい状況について問題提起されました。

② 対談

林陽子さん（弁護士・国連女性差別撤廃委員会委員）と李節子さん（長崎県立大学大学院人間健康科学研究科教授）が対談されました。林さんは、国連女性差別撤廃委員会が勧告した場合、その勧告を国に守らせるには、市民の力が必要である、李さんは、外国人も暮らしやすい社会にしていくことが大切で、外国人に対する支援が必要だと訴えられました。



③ 分科会

「テレビCMから読み解くジェンダー」をテーマに、20年前のCMでは、女性が家事をするCMが多いが、10年前のCMでは、男性が介護する場面などが多くなり、ジェンダーに配慮されるようになってきている、などの意見が出されました。また、CMを作成する現場はほとんどが男性であり、作る側と見る側が意見を出し合いながら、多様な視点で作らなければならない、と問題提起されました。

④ 対談

岩田喜美枝さん（株資生堂代表取締役副社長）と遙洋子さん（作家・タレント）がワーク・ライフ・バランスについて対談されました。岩田さんは、社員が家族との団らんや自分の世界を深める時間を持つことが、企業にとつてのプラスになる、と話され、遙さんは、自分が「うきうき」するかどうか、「すべきことよりしたいこと」で、仕事の優先順位を付ける、と自分の生き方を話されました。

セクシュアル・ハラスメントやDVなどで悩んでいませんか。

ひとりで悩まずに、まずは電話してください。相談は無料、秘密は厳守されます。

おごおり女性ホットライン ☎ 092-513-7337

相談日 毎週月～金曜日 / 10:00～17:00（祝日・12月29日～1月3日除く）